

「大樹町空家等対策計画（案）」についての意見募集結果

「大樹町空家等対策計画（案）」について、町民の皆様からのご意見を募集したところ、2名の方から意見が寄せられました。ご意見の要旨及びご意見に対する町の考え方は次のとおりです。

【ご意見①】

市販の住宅地図に空家が載っているものもあるため、古い地図と新しい地図を比較し、空家調査の参考としてはどうか。

【町の考え】

ご意見を踏まえ今後の調査方法の参考とさせていただきます。

【ご意見②】

空家バンクの関係団体に移住コーディネーターも参加してもらったらどうか。

【町の考え】

空家バンクには協議会のような関係団体はありませんが、空家等対策協議会においては地域住民の代表として移住コーディネーターに参加していただきご意見をいただいております。

【ご意見③】

空家バンクの関係団体に区長会も参加してもらったらどうか、空家の情報が集まりやすくなる。

【町の考え】

空家バンクには協議会のような関係団体はありませんが、空家等対策協議会においては地域住民の代表として区長会会長に参加していただいております。また、今後の調査方法の参考とさせていただきます。

【ご意見④】

冬期間に息子・娘等の家に滞在して自宅を長期間空けている方に、将来、家をどうするのか意向調査をし、その結果を空家バンクに登録してもらうのはどうか、空家になっている期間が長いと家が傷むのが早いため、すぐにはいってもらう人を探すのが良い。

【町の考え】

空家バンクは現に空家になっている物件でないと登録はできませんが、所有者の意向を確認し、町として情報を把握しておくことは、迅速な空家対策に繋がると考えられるため、ご意見を踏まえ今後の施策を検討して参りたいと考えております。

【ご意見⑤】

大樹町では空家が多い印象があり、空家をリノベーションして活用できれば楽しい町になるのではと、現実的ではないものかもしれませんが次のような活用案を考えました。

1. 子どもの屋内遊具施設

大樹町には子どもがワクワクするような遊具がほとんどないと思っています。（特に

冬場)そこで子育てを楽しくできる様に空家を子ども向けの屋内遊具施設にリノベーションしてはどうかと思いました。

2. 住宅や店舗として売る

シャッター街になると一気にその町の活気が悪く見えるため積極的に店舗にすべきと思います。最近では町内でもリノベーションしてお店をもつ方が増えているので、メインストリートは空家のままにせず賑やかにしていくことが大事だと思います。

3. レンタルスペース

福祉センターや生涯学習センター等の既存のレンタルスペースとは違う方向性の「町民のやりたいを応援する施設」や「町民が交流する施設」として空家を活用する。

4. 放課後に子どもたちが集まれる場所

学童とは別にボランティアや高校生などに勉強を教えてもらったり、宿題をやったりできる場所として活用する。

5. ゲストハウス

コンセプトホテルや賃貸等の普通の部屋とは少し違う特徴を持たせた宿泊施設として活用する。こういった特徴的な宿泊施設が話題となり町おこしに繋がることもある。

6. 賃貸や公営住宅の代替施設や移住体験用の住宅

空家を買ってDIYでおしゃれにリメイクして賃貸住宅とする。町営でも良いが最近ではDIY人口も増えているので同じような考えの人もいるのではないかな。

7. ひとり親向けのシェアハウス

大樹町のひとり親家庭に向いているかはわかりませんが、家賃や光熱費を抑えられたり同じ境遇なので相談しやすいなどのメリットがあるようです。

大樹町も町民も活気のある町になってほしいと思っています。

【町の考え】

空家問題を解決する上で、まだ使用できる空家の活用方法を考えることは非常に重要な事だと考えております。ただ、ご意見の中でもご指摘のとおり、活用案を実現することには高いハードルがあるとも考えております。空家問題には現に所有されている方の権利や考え方、費用面の問題等、様々な問題が絡み合っていることが要因となっています。こういった空家問題の性質をふまえて、今回作成した計画案では具体的な空家の活用案にまでは触れておりませんが、今後空家対策が進捗していく過程では、こういったご意見にあるような活用方法も検討していかなければならないと考えております。

ご意見の内容は空家対策はもちろんのこと、それ以外の施策とも関連する部分がありますので、現在策定中であります第6期大樹町総合計画やその他の関連計画も含め参考とさせていただきます、今後の施策を検討して参りたいと考えております。